



図書館 だより

図書館 ☎ 69・3706

おしえて! 図書館 (レファレンス)

Q クリスマスやお正月など、イベントを盛り上げる料理の本はありますか?

A それならこちらはどうぞでしょう。



また来たいと思われる
ちょっと贅沢なおもてなし
レシピ

冷水希三子 / 著
家の光協会

普段の夕食と違った、コース料理の作り方はです。

特別な日のごちそうにいかがですか。






素敵な年末年始をお過ごしください♪

レファレンスとは情報や本などを探してお手伝いをする図書館のサービスのひとつです。

図書館に入った本



いろいろな本があります。
一部をご紹介します♪

	『荒神』 宮部みゆき / 著 朝日新聞出版
	『フォルトウナの瞳』 百田尚樹 / 著 新潮社
	『マッサンとリタ ジャパニーズ・ウイスキーの誕生』 オリヴ・チェックランド / 著 NHK出版
	『一番詳しい吉田松陰と 松下村塾のすべて』 奈良本辰也 / 編 KADOKAWA
	『ひつじ年のゆる文字年賀状』 宇田川一美 / 著 誠文堂新光社

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時はお気軽に職員にお尋ねください。

地元の海で釣り採集

■釣りで展示生物調達

三河湾の魚の展示充実化を図るため「釣り」に出かけることになった。飼育員さんは仕事で釣りができるのだ。しかしながら毎日忙しい仕事を抜けて楽しい釣りに出かけるので、選ばれるメンバーおよびその能力・期待・成果・ねたみ・うらやましさをレベルは果てしなく、いわゆる「入れ食い」が確認されているとき以外は誰も率先して志願するものはいない現実があります。

■若手釣り部隊

召集されたのは、休日とも趣味で釣りに行き全身日に焼けて外見が国籍不明化、釣りに行かない日はもっぱら街で異性を釣ることに力を注ぐという大原志願兵と、釣りには興味がなく休日には自宅の熱帯魚が恋人と遊んでいた塚本三等兵の若手2名。大原はこの時期なら「ゼンメ(本名ヒイラギ)なら確実に釣れますね、運が良ければキスも釣れます」と自信に満ちた様子。我々先輩スタッフに「最低200匹だぞ」「シーラカンスを釣ってこい」「釣れなかったらウサギ跳



水族館



学芸員 小林龍二

竹島水族館
☎ 68・2059

びで帰ってこい」など激励の言葉を受けた途端に引きつりのウスマ笑いに表情を豹変させつつ市内のポイントへ出かけて行きました。

■釣果

彼らが狙うのは蒲郡の海の砂地に住んでいる「ヒイラギ」。蒲郡では「ゼンメ」および「ゼンメイ」と言う名で、煮魚として馴染みの子どもの手のひらほどの大きさをした小魚。シーズンだったので期待が持てました。
お昼から出かけていった彼らですが、夕方になり辺りが暗くなっても帰ってこず連絡もないので留守番の先輩スタッフは「釣れ過ぎて止まらないのでは」「いや、釣れないから俺らが怖くて帰って来れないのでは」「すでに釣れない責任をとって海に入り殉職したので

は」などの声。仕事が終わった後、迎えに行くと海岸をトボトボとゾンビ化して歩く若者2名。

「どおだ、大漁か」と笑顔で聞くと「あははあ」と言うのみ。出かけていく段階の彼らの顔を見て覚悟はしていたものの少しの期待はあったのですが、釣れた魚を入れるタンクを覗くと小魚数匹。「ハゼとキスです」と塚本。本命のヒイラギはゼロ。ヒイラギよりも高級なキスが釣れたのは褒めたたえべきだが、ほとんどのキスは釣りマニアの大原ではなく初心者の塚本の戦利品だという。
「じゃあ大原はうさぎ跳びで帰ってきなさい」私は笑顔で大原に言いました。大原の目に光るものがあつた。